

会 議 要 旨

会 議 名	令和4年度 第5回館山市行財政改革委員会
開 催 日	令和5年3月20日(月) 15:00~17:00
開 催 場 所	館山市役所 本館2階会議室(委員長リモート参加)
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 館山市行財政改革委員会委員 8名 ◆ 館山市(事務局) 市長・副市長・総務部長・行革財政課(課長以下5名)
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0名
会議概要・結果等	<p>○市長挨拶</p> <p>○情報提供 (1) 令和5年度当初予算の状況 予算総額として247億7,400万円であり、過去最大規模となっていること、予算額増額の要因として清掃センター基幹的設備改良事業費の増、館山中学校整備事業費の増があげられることを説明した。あわせて市債や基金の状況、重点施策の概要等について説明した。</p> <p>○協議事項 (1) 『第4次行財政改革方針』の計画策定について パブリックコメント実施結果について件数、内容及び回答案等について説明した。</p> <p>(●: 委員意見 ⇒: 事務局回答) 【協議事項(1)に関する主な委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 件数について、他の計画等と比較したとき、35件のパブリックコメントは多いのか。意見を出した人数について教えてほしい。 ⇒人数については10名の方から意見を頂いた。 前回の第3次館山市行財政改革方針におけるパブリックコメントの件数は34件。なお、当方針と同時期に行った他計画(他課)のパブリックコメントの件数は1~2件程度のため、当方針における件数は多いと思われる。 ● 公共施設について、もっと意見が出されるのではと感じていた。公共施設については、これからの事業仕分けについても関わってくるため、今後の行方を見ていきたい。 ● パブリックコメントの意見が多いということは、良いことと思う。

- 意見全般としては、「全体の取組のことや分かりやすくしてほしい」、「数値化してほしい」という趣旨の意見が多い。
- パブリックコメントの意見に対する反映（修正）は2件で良いのだろうかと感じている。パブリックコメントに対する回答としては説明のあった通りが良いと思うが、分かりやすく可視化をしなければならないということを何かしらの形で反映できないかと思っている。
⇒確かに軽微な修正に留めている。提出意見に対して、確かにそうだなと思う箇所も多々ある。分かりやすく可視化することについては、時間が許す限り、修正したいと考えている。
- 意見 No. 4 の指摘、「赤字の先には、～ 反映できないか。」と回答はあるが、パブコメの中で終わってしまうと見る人も少ない。方針そのものに反映すると多くの人が見る、あっても良いのではないか。
- （委員長）今、議論している内容は、当方針の本質的な部分ではなく見せ方の協議のため、第4次行財政改革方針の最終版については、委員長預かりとしたうえ、事務局と相談し、決定したいがよろしいか。
- （各委員）了解した。

② 答申（案）について

事務局より答申（案）を読み上げたうえ、その内容について説明。

- 計画本体または答申へ本文中に「分かりやすく」という表現は入れた方がよい。どのような媒体でも「分かりやすく、短く、数値を示す。」ということが重要。分かりやすく伝えないと実現しないという考え方はあると思う。
- 「自分ごとにしていく」という表現があっても良いのでは。館山市の未来を行政だけが考えるのではなく、市民が考えていくという思いを込めて、「自分ごと」という表現をいれるべきでは。
- 何度か会議の際に出ている意見でもあるが、歳出削減という表現が全面にでて、どうしてもネガティブな内容になる。行財政改革は市民のために行うもので「前を向いていけるようにどうしていくか」というトーンがあっても良いのではと思っている。
- （委員長）それらの内容を踏まえて、答申を修正する。パブリックコメントの回答も含めて、皆様に事務局よりメール送付することになるが、よろしいか。そのうえで答申を決定したい。
- （各委員）了解した。

（2）事業仕分けについて

事務局より令和5年度予算事務事業一覧及び過去に実施した事業仕分け等について次のとおり説明した。

・事務事業一覧について

市の事務事業一覧について、令和元年度の事業選定時の事業一覧に令和5年度予算を追記し、平成30年度予算と令和5年度予算を比較できるようにした資料となっている。一覧では約240事業前後となっているが、市の全体の事務事業としては327事業あるため、多少大まかな資料になっている。

・平成19年から平成23年までの事業仕分けについて

平成19年、22年、23年は行財政改革委員の方々が評価者となってい

ること、平成20年、21年は、構想日本へ委託し、仕分け人は構想日本の方となっている旨、説明。事業の中には、過去の事業仕分けで課題として挙げられているものが現在も形が変わらず実施されているものもある。

来年度実施予定の事業仕分けにおける実施方針（案）について、次のとおり説明し、意見を求めた。

〈スケジュール（案）について〉

判定人について、再度、新規に募集をするのではなく、令和元年度に途中で中止となった際の希望者96名の意向を確認し、参加を促す方向で検討している旨を説明。また、前回の希望者を基に行う場合においても、無作為抽出となる。

事業仕分け本番について、令和5年9月23日（土）及び24（日）を実施日とする。

〈対象事業の選定について〉

対象事業を0ベースで考えるか、令和元年度事業仕分け対象事業をベースとするか委員に意見を求めた。

（事前に、各委員に事務事業一覧をメール送付し、各委員において、選定する事業やポイント等について、検討した。）

（●：委員意見 ⇒：事務局回答）

【協議事項（2）に関する主な委員意見】

〈スケジュール案について〉

●スケジュール案について、了承した。

〈対象事業の選定について〉

●今回の事業仕分け選定にあたり、状況の変化がないものは、令和元年度ベースで良いと思う。なお、令和元年度に選定されていた南総里見まつりは、観光協会において大きく見直しているため、選定する必要はないと思う。

●令和元年度に選定した事業はバランスが良かった。当時、元気な広場について選定しているが、子育て支援について様々な制度ができており、また、利用者の顔ぶれも変わっている。今回の選定にあたっては、元気な広場に捉われる必要はないと感じる。その代わりに、子育て分野というテーマでも何か行えたら良いと思う。

●パブリックコメントの結果を見ても公共施設を関心ごととして捉えていると思われる。公共施設について、新たに選定できればと思う。

●事務局として、令和元年度ベース以外の事業は何を考えているか。

機械的に事務事業一覧から絞ることはできるか。

⇒絞りこむことは数が多いこと、からからの雑巾を絞り切っている状況のため、なかなか難しいと考えている。まずは、事務局の案を示したいが、よろしいか。

●お願いする。

⇒（令和元年度対象だった事業の内、今回の事業仕分けにおいて、対象としない事業及び事務局の事業仕分け対象事業（案）について説明した）

（以下概要）

・令和元年度対象事業の内、南総里見まつりは形を変えているので除き、館山

まるしえについて、食のまちづくり拠点施設整備が開始され、事業は廃止しているため除いている。

また、全国大学フラメンコフェスティバルは予算規模が縮小されているので除き、元気な広場については、別の子育て支援に係る事業を対象とすることを検討しているため除いている。

- ・今回の対象事業として、公民館をあげている。令和元年度は運営方法についてフォーカスしていたが、公共施設のあり方は行財政改革の課題であり、昨今は市全体の施設の老朽化が著しいことや今後、維持管理経費が増加することが見込まれるため、施設から選定した。

なお、施設の選定方法については、一定の基準でフィルターをかけ、耐用年数や老朽化の状況を数値化し、順位付けを行っている。その結果、公民館が上位にあがるため、挙げている。

- ・博物館については、人口規模を見ると、3館と施設数が多いため、挙げている。

- ・補助金については第3次行財政改革方針から引き続き課題となっているため、候補とし、一覧より一律の基準でフィルターをかけた。

基準としては、性質分類として団体運営補助に該当するもの、市単独事業に該当しないもの、新型コロナ関連交付金事業に該当するもの、期限設定のあるもの、50万円以下に該当するもの、市民生活に直結するものを除いている。その結果、補助金において6事業が候補となった。

- ・観光振興支援事業補助金、市民協働事業補助金、環境保全団体支援事業補助金が挙げられているが、これらは補助金自体の性質が悪いということではなく、市民の活動を支援するうえで、年度により同じ団体が別の補助金を活用している実績もある。市民にとっての窓口としても、一本化し、1件当たりの予算を拡充しても良いのではないかと考えている。

3つの補助金を一体的に議論することもありえるため、挙げている。

- ・漁業共済事業補助金については、過去に事業仕分けで農業共済・漁業共済として2つの補助金があがっていた。その際の結果については、要改善となり農業共済を廃止、漁業共済については継続している。

漁業は天候等により左右され影響が大きいものではあるが、現在の対象事業者の規模が大きくなっているため、保険料も高額となり補助が増加していることや、漁業のみを対象としていることがあげられ、補助率等を見直すなどの余地はあると考えている。

- ・あわ夢まつり補助金については、1つの団体に特化した補助金ということになるが、条件で抽出すると対象の事業となる。

- ・その他の事業については、他事業を踏まえ、幅広くバランスよく選定するという観点で選定している。

防災行政無線を更新する事業について、令和5年度当初予算の査定場で課題となっており、予算措置されていない。

134基すべてが必要になるのか、順次すべてを更新するのか、更新の場合は毎年5千万円以上の予算が必要となること、代替としてメール等の様々なツールがあること等を踏まえ、議論してよいのではないかと考えている。

- ・植栽管理事業は、花のまちづくりとして、市の施策を進めており、平成30年より予算は1.5倍以上増加している。道路に植栽が必要なのか、また、どこまで管理が必要なのか、という観点で挙げている。

- ・子育て支援については、各課で特別支援の様々な取組を行っている。

特別支援学級に入る児童が増えている中で、そういった子供たちに手厚くサポートできないか、早めにアプローチできないか、各課で策を練っているが、一本化やセンター化等を通して専門的職員の配置等の検討ができないか、という観点で挙げている。

以上が事務局案の大まかな概要となる。

●本日の委員会で対象事業を決めるのか。最終的な対象事業はいつ決めるのか。
⇒対象事業の決定は、次回の会議で11事業（本番10事業、模擬1事業）を絞りたいと考えている。

●対象事業の候補として団体運営の補助金を抜く理由について、どのように答えるのかが疑問。最初から団体運営補助の事業を抜くことには違和感がある。

●自治体によっては、団体運営補助金を切り、事業補助に切り替える取組を行っている。運営を見直すことは必要なことで、民業圧迫等の論点になることが多いと感じている。

●事業仕分けについては、市民に対して考えるきっかけ、自分の地域のことを考えてもらうきっかけになればよいと思う。

●令和元年度時は歳出削減という観点もあるが、歳出削減が大きな目的ではなく、特にイベントのやり方の見直し等が大きなウェイトを占めていたと認識している。今回の事業仕分けでは、どのような観点か。

⇒第一は歳出削減で考えている。

なお、公共施設等については、利用者目線だけではなく、利用者以外の目線も含めて議論したいと考えている。

●歳出削減を目的とした場合、成果目標については、事業仕分けに係る予算である200万円以上の削減効果を出したいと思っているか。

⇒厳しい財政状況の中、令和9年度赤字回避を向けてという観点があるため、200万円以上の効果がなければ行う意味がないと考えている。

●令和元年度のイベント事業を比較した時は人件費を含んだ予算額となっていた。令和5年度においても事務事業一覧に人件費をつけてほしい。

そのうえで、人件費を含む事業費の高い順にソートをかける等できるのではないか。

ただし、削減余地がないものの中にはあると思われるので、単純に上から10個という選び方をするのではない。

その一覧で、委員会において200万円以上という観点を念頭に置き、選定した方がよい。令和元年度における対象事業をはじめから意識して、5件や6件残すという観点は必要がないと感じる。

また、令和元年度においては、削減効果目標を示していなかったが、今回の事業仕分けでは、削減額を念頭に置き、進めていきたい。

⇒了解した。

●事業を選定するにあたり、幾つかの類似の事業をまとめて1つにすることを議論できないかと考えている。

●事象仕分けの実施方針の資料中には、実施目的の記載があった方がよい。

⇒了解した。

その他

- (1) 旧富崎小学校利活用に係る提案審査会（2月21日実施）の結果について
- ・4事業者より応募があったが、4事業者共に、基準点を満たさなかつたため、不選定となった。

⇒改めて公募を行い、3月29日（水）に再度、提案審査会を実施予定。

(2) 次回の会議日程について

・次回の会議は5月1日（月）予定

(3) 答申について

・3月28日の16時30分から答申予定（オンライン）